

ゆりぐみだより～秋の自然み一つけた！～

1 夏が終わり、落ち葉が舞うそんな秋の訪れと共に散歩の季節がやってきました★

朝の会



保：今日は天気が良いので、お散歩に出掛けたいと思いまーす！

イエーイ

やったー！

お散歩行って何するん？

“お散歩行って何するん？”と子ども達の率直な言葉にハッとさせられました。お散歩に行って虫探しをしたい！見つけたい！などみんなで同じ目的を持って『散歩』に取り組むためにはどうしたらいいのだろう？と考えるきっかけとなりました。



先生、お花あったよ！



幼虫おるよ！

これまで咲いている草花を摘んで花瓶に生けてお部屋に飾ったり、虫が大好きなD君がバッタを捕まえては虫かごに入れたり自然に触れてきました。子ども達も見つけては保育教諭に嬉しそうに見せにきてくれました。そんな姿を見て私達からこんな思いがあふれてきました。

見つけられた！発見できた！という喜びを味わってほしいなあ…

虫が苦手な子も身近な生き物に親しみを感じてほしいなあ…

そこで!! <ゆり組おとな会議>

虫や花をこれだけ見つけたよ！と子ども達が目で見て分かるようにしてあげたいですね。



見つけたらシールとか貼ったら、もっと喜びを味わえますよね。

マスがどんどん埋まっていく感じもきっと楽しいですね！

それ、いいですね!!



早速、子ども達にさりげなく見せながら“探検カード”を作ってみる事にしました！みんなどんな反応するかな…ワクワク♪

2 “ゆり組探検カード”を作っていると、その様子を見つけた子ども達がどんどん集まってきました。



先生なにしてるん？

保：猫じゃらし描いてるんだあ。

すごーい！！上手、上手☆

保育教諭の描いている絵は子ども達からも大絶賛で出来上がったカードをみんなにも見てもらえるようにと白板ボードに貼ってみました、すると…



先生!これなに？

保：散歩に行った時に見つけた物を書いてみたんだ。

まだ空いて(マス)るよ

保：他にもまだ見つけてないのあるかもしれないね。みんなで探しに行こっか？

レッツゴー!!



ゆり組みんなで新しい物を見つけてるぞー！と気合いたっぷりの様子で出掛けています。網・虫かご・散歩バックは欠かせません。今日はどんな秋の自然との出会いがあるのかワクワク☆ドキドキの気持ちでいっぱいの子も達です。

保育参加 「トンボ捕まえたよ！」



Rちゃんの背中にトンボ発見!

ちょっと図鑑で見てみよう!



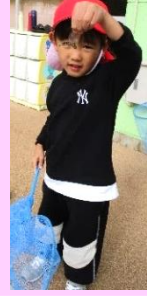
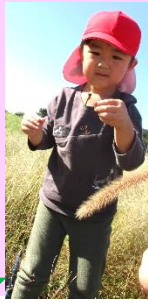
こんな葉っぱあったよ



☆虫触れるようになったよ！！☆

3

虫博士のD君に刺激されたり、保育参加の時に網でトンボを捕まえられた経験から自信になったりと、今ではどの子どもトンボ捕獲の腕はプロ並みです!!それからはカマキリ・バッタ・コオロギの名前やエサは何か?を図鑑で調べるなど自然への興味がどんどん広がってきました。その中でこんな出来事もありました。



園庭で見つけたカマキリをみんなで育てよう!
そこへきく組さんも見たいとやってきました。



と大騒ぎでした☆

カマキリどこにおるん?

保: フタ開けてもいいよ

カマキリ出てきた!

誰か捕まえて!!

カマキリお腹ポンポンやね?

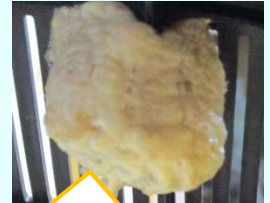


ご飯食べすぎたん
じゃない?

今、手なめとったよ

外でたいって言
っとるんかな?

カマキリが卵を
産みました!!



シュワシュワしとるー

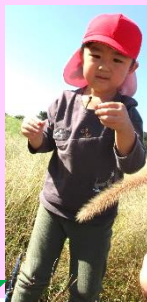
すごーい!!

春の頃は、虫を見ただけで「キャー!」と逃げていた子がほとんどでした。しかし、虫博士のD君に刺激され興味を持ち始めたり、保育参加でお母さんと一緒に網でトンボを自分で捕まえられたというのが自信になったりしました。これらが子ども達にとって大きなきっかけとなり、虫の気持ちを想像しながら「お腹空いたんかな?」「このトンボ弱っとるし逃がしてあげたい」など思いやろうとしたり「トンボ目でっかいね!」「このカマキリ茶色やね」など友達とのやりとりやつぶやきが増え、思った事や感じた事を言葉で表現しようとする姿がとても見られるようになってきました。そんな子ども達の姿を見て“楽しい”“知りたい”という夢中になっている遊びの中に『想像力』『思いやり』『言葉の表現力』が育まれているのだなと感じました。これからも私達大人がワクワク♪子ども達はもっとワクワクできるような遊びを一緒に楽しんでいきたいです。

☆虫触れるようになったよ！！☆

3

虫博士のD君に刺激されたり、保育参加の時に網でトンボを捕まえられた経験から自信になったりと、今ではどの子どもトンボ捕獲の腕はプロ並みです!!それからはカマキリ・バッタ・コオロギの名前やエサは何か?を図鑑で調べるなど自然への興味がどんどん広がってきました。その中でこんな出来事もありました。



園庭で見つけたカマキリをみんなで育てよう!
そこへきく組さんも見たいとやってきました。



と大騒ぎでした☆

カマキリどこにおるん?

保: フタ開けてもいいよ

カマキリ出てきた!

誰か捕まえて!!

カマキリお腹ポンポンやね?



ご飯食べすぎたん
じゃない?

今、手なめとったよ

外でたいって言
っとるんかな?

カマキリが卵を
産みました!!



シュワシュワしとるー

すごーい!!

春の頃は、虫を見ただけで「キャー!」と逃げていた子がほとんどでした。しかし、虫博士のD君に刺激され興味を持ち始めたり、保育参加でお母さんと一緒に網でトンボを自分で捕まえられたというのが自信になったりしました。これらが子ども達にとって大きなきっかけとなり、虫の気持ちを想像しながら「お腹空いたんかな?」「このトンボ弱っとるし逃がしてあげたい」など思いやろうとしたり「トンボ目でっかいね!」「このカマキリ茶色やね」など友達とのやりとりやつぶやきが増え、思った事や感じた事を言葉で表現しようとする姿がとても見られるようになってきました。そんな子ども達の姿を見て“楽しい”“知りたい”という夢中になっている遊びの中に『想像力』『思いやり』『言葉の表現力』が育まれているのだなと感じました。これからも私達大人がワクワク♪子ども達はもっとワクワクできるような遊びを一緒に楽しんでいきたいです。